

2015年9月10日

## 「ヤクルトCSRキャンペーン」を実施し、 公益財団法人オイスカの「子供の森」計画に寄付

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、今年6月にグループ全従事者向けの「ヤクルトCSRキャンペーン」を実施し、公益財団法人オイスカ<sup>※1</sup>の「子供の森」計画<sup>※2</sup>に846,626円を寄付しました。当キャンペーンは従事者のCSR意識啓発を目的に毎年実施しており、今年で21回目となります。

今年度のキャンペーンは、『「ヤクルトCSR総選挙！！」～不要になった本で支援内容を選んで社会貢献をしよう～』をテーマに実施しました。

グループ従事者から、不要になった本やCD等の寄付を募り、

- ① 急速な工業化による森林破壊からの再生（インドネシア）
- ② 自然災害からの復旧と災害に強いふるさとづくり（フィリピン）
- ③ 砂漠化を防止し、砂漠に緑を取り戻す（中国・内モンゴル自治区）

から支援内容を指定して送ってもらい、その売却益を寄付金としました。

その結果、6,724名のグループ従事者が参加し、書籍等の寄付総数が28,895冊、寄付総額が423,313円となりました。さらに、集まった寄付金と同額を当社からのマッチングギフト<sup>※3</sup>とし、総合計金額846,626円を公益財団法人オイスカの「子供の森」計画活動資金として寄付しました。寄付金は、インドネシア、フィリピン、中国内モンゴル自治区の子どもたちによる植林活動および環境教育活動に活用されます。

また、「ヤクルトCSRキャンペーン」の一環として、ヤクルトグループとして2012年から毎年参加している「グリーンウェイブ<sup>※4</sup>」に引き続き参加し、全国14か所の工場・研究所で植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者一人ひとりにCSR教育を徹底し、CSR意識の向上に取り組んでいくとともに、社会貢献意識の啓発を図っていきたくと考えています。

なお、今年度の「ヤクルトCSRキャンペーン」の概要は次頁のとおりです。

※1：公益財団法人オイスカは、アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進している国際NGOです。

※2：「子供の森」計画は、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。  
1991年に始まったこの活動は、35の国・地域の4,692の学校に広がっています。（2015年3月末現在）。

※3：寄付金などを募る際、寄せられた金額に対し、同額を上乗せして企業などが拠出すること。

※4：「グリーンウェイブ」は国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことです。国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

## <2015年度「ヤクルトCSRキャンペーン」の概要>

1. 『ヤクルトCSR総選挙!!』～不要になった本で支援内容を選んで社会貢献をしよう～

- (1) 期 間：2015年6月1日～6月30日（1か月間）
- (2) 対 象：ヤクルトグループ全従事者
- (3) 実 施 内 容

古本等を集めて支援内容を選んで送ることで売却益をオイスカ「子供の森」計画へ寄付

- ・急速な工業化による森林破壊からの再生（インドネシア）
- ・自然災害からの復旧と災害に強いふるさとづくり（フィリピン）
- ・砂漠化を防止し、砂漠に緑を取り戻す（中国・内モンゴル自治区）

《グループ内告知ポスター》2015年5月作成 ⇒ 《グループ内報告ポスター》2015年8月作成

**平成27年度 ヤクルトCSRキャンペーン**

# ヤクルト CSR総選挙!!

～不要になった本で支援内容を選んで社会貢献をしよう～

支援内容 1 急速な工業化による森林破壊からの再生（インドネシア「子供の森」計画）

支援内容 2 自然災害からの復旧と災害に強いふるさとづくり（フィリピン「子供の森」計画）

支援内容 3 砂漠化を防止し、砂漠に緑を取り戻す（中国・内モンゴル自治区「子供の森」計画）

**手順**

- 1. 集める**  
本やCD、DVDなどを集める（5冊以上で送料無料）
- 2. 選ぶ**  
上記3つから支援内容を選び、「贈与承諾書」に記入
- 3. 送る**  
パリュープックス 0120-826-295へ電話をし、集荷手配をしてもらう  
・査定完了後、「贈与承諾書」に記載した住所に発送が済みます。

**対象** ヤクルトグループ全従事者  
※各社（販売会社等）・事業所（支店等）・部署（本店各部署）の単位で参加

**期間** 平成27年6月1日～30日（1か月間）

**結果発表**

- 支援内容ごとの寄付総数
- 会社（販売会社等）・事業所（支店等）・部署（本店各部署）ごとの、従業員数に対する寄付冊数、従業員参加率、総冊数について発表します！

※さらに、従事者数に対する参加率（人数）が高かった会社（販売会社等）・事業所（支店等）・部署（本店各部署）には、現地の子どもたちからの「サンクスレター」を送付します。

「子供の森」計画は、公益財団法人オイスカが行っています。子どもたち自身が、苗木を植えて育てていく実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切に育てる気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていくというプログラムです。

株式会社ヤクルト本社 CSR推進室

**平成27年度 ヤクルトCSRキャンペーン** ～不要になった本で支援内容を選んで社会貢献をしよう～

# 「ヤクルトCSR総選挙!!」開票結果

1. 総合結果 **総数 28,895冊** **総額 423,313円**

2. 支援内容別結果

- 急速な工業化等による森林破壊からの再生（インドネシア「子供の森」計画）  
**14,819冊** **196,860円**  
アルバニアの苗木 およそ1,460本の支援に相当\*
- 自然災害からの復旧と災害に強いふるさとづくり（フィリピン「子供の森」計画）  
**10,827冊** **176,374円**  
マホカニーの苗木 およそ1,600本の支援に相当\*
- 砂漠化を防止し、砂漠に緑を取り戻す（中国・内モンゴル自治区「子供の森」計画）  
**3,249冊** **50,079円**  
ソウソウの苗木 およそ500本の支援に相当\*

※寄付金をその国の苗木に置き換えた本数です。実際には教育支援、人材育成支援等も行います。

3. 参加率 100%

中央静岡ヤクルト販売  
尾張ヤクルト販売  
ヤクルト食品工業  
福岡工場  
佐賀工場  
湘南化粧品工場  
千葉ヤクルト工場  
監査室  
広報室  
法務室  
人材開発センター  
秘書室  
情報システム部  
医薬業務部  
医薬札幌支店

4. 従事者あたり寄付数 《販売会社部門》

1位	南信ヤクルト販売	4.9冊
2位	会津ヤクルト販売	3.9冊
3位	厚木ヤクルト販売	3.8冊
4位	山梨ヤクルト販売	3.3冊
5位	山口ヤクルト販売	2.4冊

《本社・関係会社部門》

1位	広報室	16.9冊
2位	医薬大阪支店	8.4冊
3位	ヤクルト薬品工業	6.5冊
4位	ヤクルト健康保険組合	6.4冊
5位	ヤクルト同仁協会	5.9冊

5. 総冊数 《販売会社部門》

1位	東京ヤクルト販売	2,411冊
2位	京滋ヤクルト販売	1,371冊
3位	山口ヤクルト販売	1,262冊
4位	神奈川東野ヤクルト販売	1,004冊
5位	水戸ヤクルト販売	976冊

《本社・関係会社部門》

1位	広報室	658冊
2位	富士姫野工場	539冊
3位	福岡工場	414冊
4位	千葉ヤクルト工場	377冊
5位	佐賀工場	351冊

公益財団法人 オイスカ様 からのメッセージ

ヤクルト関係者の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございます！ 今後とも、各国の子どもたちのふるさとを守る活動を温かく見守り、応援していただければ幸いです。

## 2. 「グリーンウェイブ2015」への参加

- ・東京都国立市との「植樹」に関する協働活動
- ・グループ内工場（13工場）で「植樹」を実施